

## 内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科

### ①-1 学術論文 [英文]

#### a) 原著

- 1) Yoshida K, Takizawa Y, Nishino Y, Takahashi S, Kanemura S, Omori J, Kurosawa H, Maemondo M, Minami Y. Association between Family History of Cancer and Lung Cancer Risk among Japanese Men and Women. *Tohoku J Exp Med.* 2019 Feb;247(2):99-110. doi: 10.1620/tjem.247.99.
- 2) Okada K, Araki M, Sakashita T, Ma B, Kanada R, Yanagitani N, Horiike A, Koike S, Oh-Hara T, Watanabe K, Tamai K, Maemondo M, Nishio M, Ishikawa T, Okuno Y, Fujita N, Katayama R. Prediction of ALK mutations mediating ALK-TKIs resistance and drug re-purposing to overcome the resistance. *EBioMedicine.* 2019 Mar;41:105-119. doi: 10.1016/j.ebiom.2019.01.019. Epub 2019 Jan 17.
- 3) Kohsaka S, Petronczki M, Solca F, Maemondo M. Tumor clonality and resistance mechanisms in EGFR mutation-positive non-small-cell lung cancer: implications for therapeutic sequencing. *Future Oncol.* 2019 Feb;15(6):637-652. doi: 10.2217/fon-2018-0736. Epub 2018 Nov 8.
- 4) Hida T, Seto T, Horinouchi H, Maemondo M, Takeda M, Hotta K, Hirai F, Kim YH, Matsumoto S, Ito M, Ayukawa K, Tokushige K, Yonemura M, Mitsudomi T, Nishio M. Phase II study of ceritinib in alectinib-pretreated patients with anaplastic lymphoma kinase-rearranged metastatic non-small-cell lung cancer in Japan: ASCEND-9. *Cancer Sci.* 2018 Sep;109(9):2863-2872. doi: 10.1111/cas.13721. Epub 2018 Jul 25.
- 5) Abe K, Nakamura Y, Yamauchi K, Maemondo M. Role of genetic variations of chitinase 3-like 1 in bronchial asthmatic patients. *Clin Mol Allergy.* 2018 Apr 2;16:9. doi: 10.1186/s12948-018-0086-7. eCollection 2018.
- 6) Horii Y, Hirano K, Sato H, Itou T, Chiba R, Moriguchi S, Deguchi H, Tomoyasu M, Tanita T, Sugai T, Maemondo M. Retrospective Study to examine the

relationship between secreted protein acid and rich in cysteine expression and prognosis in lung cancer using surgical resection specimens. *Current Analysis in Oncology.* 2019 (2). 1-7.

#### b) 総説

#### c) 症例報告

#### d) その他

### ①-2 学術論文 [和文]

#### a) 原著

水野友貴,内海裕,秋山真親,佐々木信人,前門戸任. COPD患者における肺機能及び身体活動性と血清中アネキシン A1との関連について.「呼吸」e レポート.2 巻 1 号:12-17.2018.

#### b) 総説

- 1) \*渡邊香奈,前門戸任. 新しい肺癌現場診断学.2018年6月.南江堂

#### c) 症例報告

#### d) その他

1)\*守口知,阿部和幸,堀井洋祐,千葉亮祐,\*齋藤平佐,石田和之,菅井有,前門戸任.気管支鏡検査における迅速細胞診と診断陽性率および生検回数との関連性.気管支支.40 巻: Suppi.242:2018.

2) 菅井万優,佐藤英臣,平野邦夫,和田百合子,松本あみ,及川侑芳,千葉亮祐,村田興則,秋山真親,内海裕,長島広相,山下雅大,佐々木信人,前門戸任.プムプロエイズマブ投与中当日から発熱をきたしたその後 Grade3 の肝機能障害を認め、ステロイド投与で治療した 1 例.肺癌.58 (5):403.2018.

3)前門戸任.血管新生阻害剤の役割を考える 分子標的と血管新生阻害剤.肺癌.25 (6):467.2018.

4) 前門戸任.ベバシズマブ+エルロニチブ併用試験 (JO25567 試験と NEJ026 試験).がん分子標的治療.16 (4):427-431.2019.

5) \*小林国彦,前門戸任,\*清家正博,\*磯部宏,\*大泉聡史,\*井上彰,\*石井芳樹,\*萩原弘一,\*各務博,\*滝口裕一,\*弦間昭彦,\*久保田馨,\*高橋和久,\*西條康夫,\*菊地利明,\*吉澤弘久,\*磯部威.【がん臨床研究の今後】NEJSG (北日本研究機構) の成果と展望.腫瘍内科.23 (2):94-100.2019.

6) \*合田智宏,\*木下一郎,\*秋田弘俊,\*渡邊香奈,前門戸任,\*大泉聡史,\*朝比奈肇,\*品川尚文,\*原田敏之,\*磯部宏,\*天野虎次,\*後藤功一.HER2 異常を有する既治療非小細胞肺癌に対するトラスツズマブ単剤治療の第Ⅲ相試験 (HOT1303-B 試験).肺癌.59 (1):113.2019.

7) 前門戸.進歩する肺癌治療 分子標的薬と免疫療法.岩手医学雑誌.70 (6) : 23-215.2019.

## 著書

### ③ 国際学会発表

a) 招聘講演等

b) 一般講演

- 1) Furuya N, Fukuhara T, Saito H, Watanabe K, Sugawara S, Iwasawa S, Tsunozuka Y, Yamaguchi O, Okada M, Yoshimori K, Nakachi I, Gemma A, Azuma K, Hagiwara K, Nukiwa T, Morita S, Kobayashi K, Maemondo M, North East Japan Study Group; Phase III study comparing bevacizumab plus erlotinib to erlotinib in patients with untreated NSCLC harboring activating EGFR mutations: NEJ026. ASCO2018. Chicago. USA. 2018.
- 2) Kawashima Y, Fukuhara T, Furuya N, Saito H, Watanabe K, Iwasawa S, Tsunozuka T, Yamaguchi O, Okada O, Yoshimori K, Nakachi I, Gemma A, Azuma K, Hagiwara K, Nukiwa T, Morita S, Kobayashi K, Maemondo M. Phase III study comparing bevacizumab plus erlotinib (BE) to erlotinib (E) in patients (pts) with untreated NSCLC harboring EGFR mutations: NEJ026. ESMO2018. Munich. Germany. 2018.

c) その他

### ④-1 国内学会発表 (全国)

a) 招聘講演等

b) 一般講演

- 1) 乾健 他.肺癌の脳転移に対するベバシズマブの効果.医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2018 京都.2018年4月.京都.
- 2) 山下雅大,前門戸任.急性呼吸急迫症候群における BALF VEGF-C/-D レベル.第 58 回日本呼吸器学会学術講演会.2018年4月.大阪.
- 3) \*守口知,千葉亮祐,\*齋藤平佐,長島広相,森川直人,前門戸任.Nivolumab 投与後の化学療法の治療効果の検討. 第 58 回日本呼吸器学会学術講演会.2018年4月.大阪.
- 4) 和田百合子,松本あみ,及川侑芳,佐々木信人,前門戸任.習慣性死産に対して未分画ヘパリン自己注射およびヒドロキシクロロキシンが有効であった一例.第 62 回日本リウマ

チ学会総会・学術集会.2018年4月.横浜.

- 5) 及川侑芳,佐々木信人,松本あみ,和田百合子,村田興則,前門戸任.アダリムマブ,セクキヌマブにより薬剤性間質性肺炎が増悪した尋常性乾癬の一例. 第62回日本リウマチ学会総会・学術集会.2018年4月.横浜.
  - 6) Ryosuke C, Naoto M, Koichiro S, Takako H, Satoshi M, Wataru S, Hiroyuki D, Makoto T, Tatsuo T, Kazuyuki I, Tamotsu S, Kohei Y, Makoto M. Trace elements affect lung cancer subtypes. Anti-Cancer Treatment Japan. 2018年 May. Tokyo.
  - 7) 前門戸任.肺がん分子標的治療薬と薬剤耐性第 22 回.日本がん分子標的治療学会学術集会.2018年5月.東京.
  - 8) 守口知,阿部和幸,堀井洋祐,千葉亮祐,齋藤平佐,石田和之,菅井万優,前門戸任.気管支鏡検査における迅速細胞診と診断陽性率および生検回数との関連性の検討.第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会.2018年5月.東京.
  - 9) \*岩澤俊一郎,\*福原達朗,\*齋藤春洋,\*古屋直樹,\*渡邊香奈,\*菅原俊一,\*常塚宣男,\*山口央,\*岡田守人,\*吉森浩三,\*仲地一郎,\*東公一,\*弦間昭彦,\*萩原弘一,\*貫和敏博,\*森田智視,\*小林国彦,前門戸任.ベバシズマブ+エルロチニブ併用 (BE) とエルロチニブ単剤 (E) を比較する第 3 相試験 (NEJ006) .第 59 回日本肺癌学会学術集会.2018年11月.東京.
  - 10) 千葉亮祐,森川直人,\*世良耕一郎,\*守口知,長島広相,重枝弥,出口博之,友安信,齋藤元,石田和之,菅井有,前門戸任.肺癌と微量元素の関連についての検討. 第 59 回日本肺癌学会学術集会.2018年11月.東京.
  - 11) 長島広相,\*守口知,千葉亮祐,村田興則,秋山真親,内海裕,前門戸任.当科における血漿 EGFR 検査 (PNA-LNA PCR Clamp 法) の他院から患者受け入れの試み. 第 59 回日本肺癌学会学術集会.2018年11月.東京.
- c) その他

### ④-2 国内学会発表 (地方会関係)

a) 招聘講演等

b) 一般講演

- 1) 伊藤貴司,\*鳴海茜,\*窪野裕太,\*菅原まり子,\*宇部健治,\*守義明.当科で経験した ROS1 融合遺伝子陽性肺癌の 2 例.第 57 回日本肺癌学会東北地方会.2018年7月.弘前.
- 2) 菅井万優,佐藤英臣,平野邦夫,和田百合子,松本あみ,及川侑芳,千葉亮祐,村田興則,秋山真親,内海裕,長島広相,山下雅大,佐々木信人,前門戸任.ペムプロリズマブ投与中当日から発熱をきたしたその後 Grade3 の肝機能障

- 害を認め、ステロイド投与で治療した一例. 第 57 回日本肺癌学会東北地方会.2018 年 7 月.弘前.
- 3) 島田大嗣,\*渡邊香奈,\*鈴木綾,\*小林真紀,\*盛田麻美,\*鎌田真弓,\*原崎頼子,\*佐々木治,\*福原達朗.ICI 投与後の免疫関連有害事象として自己免疫性溶血性貧血を生じた 1 例. 第 57 回日本肺癌学会東北地方会.2018 年 7 月.弘前.
- 4) 秋山真親,\*浅井俊成,才川博敬,佐藤英臣,松本あみ,内海裕,前門戸任.atezorizumab による薬剤性間質性肺炎の一例.第 107 回日本呼吸器学会東北地方会.2018 年 9 月.仙台.
- 5) 堀井洋祐,\*宮本伸也.化学療法後に腫瘍崩壊症候群を発症した肺大細胞神経内分泌癌の 1 例. 107 回日本呼吸器学会東北地方会.2018 年 9 月.仙台.
- 6) 伊藤貴司,\*菅原まり子,\*宇部健治,\*守義明,\*小野貞英.多彩な皮膚症状に契機に発見された肺扁平上皮癌のお 1 例. 107 回日本呼吸器学会東北地方会.2018 年 9 月.仙台.
- 7) 堀井洋祐,\*宮本伸也.続発性気胸と胸膜炎をきたした非結核性抗酸菌症の 1 例. 107 回日本呼吸器学会東北地方会.2018 年 9 月.仙台.
- 8) 長島広相,菅井万優,佐藤英臣,和田百合子,\*平野邦夫,松本あみ,千葉亮祐,秋山真親,内海裕,山下雅大,森川直人,佐々木信人,金城伸裕,前門戸任.気管支喘息発作の診断で紹介された、声帯機能不全と考えられる一例. 107 回日本呼吸器学会東北地方会.2018 年 9 月.仙台.
- 9) 長島広相,菅井万優,佐藤英臣,平野邦夫,松本あみ,守口知,千葉亮祐,内海裕,村田興則,秋山真親,森川直人,前門戸任.当科における血漿 EGFR 検査 (PNA-LNA PCR Clam 法) の他院からの患者受け入れの試み.第 35 回東北肺癌研究談話会.2019 年 2 月.仙台.
- 10) 伊藤貴司,\*菅原まり子,\*宇部健治,\*守義明,\*小野貞英.海外渡航歴のある過敏性肺炎の 1 例.第 108 回日本呼吸器学会東北地方会.2019 年 3 月.盛岡.
- 11) \*宇部健治,伊藤貴司,\*菅原まり子,\*守義明.ロルラニチブによる二次治療を施行した ALK 陽性肺腺癌の 1 例.第 108 回日本呼吸器学会東北地方会.2019 年 3 月.盛岡.
- 12) 堀井洋祐,島田大嗣,\*宮本伸也.初診時から小細胞癌へ転化をきたしたと思われる EGFR 陽性肺癌の 1 例.第 108 回日本呼吸器学会東北地方会.2019 年 3 月.盛岡.
- 13) 菅井万優,村田興則,及川公樹,菅井有,片桐紘,松本あみ,前門戸任.半月体形成糸球体病変を合併した骨髄サルコイドーシスの一例. 第 108 回日本呼吸器学会東北地方会.2019 年 3 月.盛岡.
- c) その他
- 1) 前門戸任.進行非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の治療について考える.2018 年 4 月.東京.
- 2) 前門戸任.EGRF 遺伝子変異陽性肺癌における新たな治療戦略.Tochigi Thoracic Oncology Forum 2018.2018 年 5 月.宇都宮.
- 3) 前門戸任.進歩する免疫チェックポイント阻害剤による肺癌治療.第 7 回肺癌最新情報セミナー.2018 年 5 月.福岡.
- 4) 前門戸任.肺癌治療の最新データから考える治療シークエンス.第 17 回岩手肺癌分子標的フォーラム.2018 年 6 月.盛岡.
- 5) 前門戸任.肺疾患における最新の話題～高齢者肺炎球菌ワクチンの再接種を含めて～.盛岡市医師会内科医会廿日会.2018 年 6 月.盛岡.
- 6) 前門戸任.エビデンスに基づく免疫チェックポイント阻害剤治療.第 4 回 Immuno-Oncology Conference in Koriyama.2018 年 6 月.郡山.
- 7) 前門戸任.IV 期非小細胞癌における最新の治療戦略.肺癌特別講演会.2018 年 6 月.仙台.
- 8) 前門戸任.EGFR 遺伝子変異陽性肺癌に対する新戦略.Lung Cancer Meeting.2018 年 7 月.名古屋.
- 9) 前門戸任.ICI 阻害剤による肺癌治療戦略のこれから.埼玉南部肺がんセミナー.2018 年 7 月.川口.
- 10) 前門戸任.肺癌治療の進歩～分子標的治療と免疫療法～.第 39 回市民公開講座-未来につながる現在の治療と健康科学～.2018 年 8 月.矢巾.
- 11) 前門戸任.EGFR 遺伝子変異陽性 NSCLC.中外 e セミナー.2018 年 8 月.盛岡.
- 12) 前門戸任.肺癌の進歩～分子標的薬と免疫チェックポイント阻害剤～.平成 30 年度第 4 回臨床腫瘍セミナー.2018 年 8 月.福島.
- 13) 前門戸任.有害事象とその対策.平成 30 年度第 3 回臨床研究講習会.2018 年 9 月.盛岡.
- 14) 前門戸任.肺癌治療のパラダイムシフト.多摩 Lung Cancer Symposium.2018 年 9 月.立川.
- 15) 前門戸任.肺癌の薬物療法.肺癌治療の最前線!!～みんなで学ぼう in 盛岡.2018 年 9 月.盛岡.
- 16) 前門戸任.新しい EGFR 陽性肺癌の初回治療の考え

方.Integration Lectures of Lung Cancer～from N&T faculty.2018年9月.東京.

- 17) 前門戸任.肺癌治療のパラダイムシフト.Lung Cancer Seminar in Ishinomaki.2018年9月.石巻.
- 18) 前門戸任.エビデンスに基づく免疫チェックポイント阻害剤治療.NSCLC Immuno Oncology Seminar in Ota.2018年10月.太田.
- 19) 前門戸任.胸部腫瘍に対する免疫チェックポイント阻害剤治療.第15回川崎・横浜呼吸器フォーラム.2018年10月.横浜.
- 20) 前門戸任.ICIによる肺癌治療戦略のこれから.城南 Lung Cancer Seminar.2018年11月.東京.
- 21) 前門戸任.新しい非小細胞肺癌治療戦略.第2回宮城県北肺がんセミナー.2018年11月.大崎.
- 22) 前門戸任.エコー検査の基礎知識とICIによるNSCLCの治療戦略.2018年11月.仙台.
- 23) 前門戸任.肺がん治療の進歩～ドライバー遺伝子変異の検出と分子標的薬治療～.平成30年度(第37回)岩手県医師会臨床検査精度管理セミナー.2018年11月.盛岡.
- 24) 前門戸任.進歩する肺がん治療-分子標的薬と免疫療法-.2018年11月.盛岡.
- 25) 前門戸任.EGFR 遺伝子変異肺癌治療の未来～Precision Medicine はどこへ向かうのか～.第59回日本肺癌学術集会ランチョンセミナー18.2018年11月.東京.
- 26) 前門戸任.ALK 陽性肺癌に対する使い切り治療戦略.Lung Cancer Precision Medicine Conference in AOMORI.2018年12月.青森.
- 27) 前門戸任.EGFR 遺伝子陽性 NSCLC 治療の最新の知見.TAGRISSO Real World Evidence Workshop.2018年12月.和歌山.
- 28) 前門戸任.肺癌における免疫治療の基礎と臨床.三重肺癌研究会.2019年1月.津.
- 29) 前門戸任.これからの非小細胞肺がん1st Line ICI療法を考える.第3回肺がん診療ナビライブ講座.2019年1月.盛岡.

#### ⑤-1 国際学会主催

#### ⑤-2 国内学会主催

- 1) 第108回日本呼吸器学会東北地方会.2019年3月.盛岡.
- 2) 第138回日本結核病学会東北支部学会.2019年3月.盛岡.
- 3) 第13回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会東北支部会.2019年3月.盛岡.